



もち振る舞いもてなす 有志らが登録支援活動

町民有志らによる「もち振る舞い」が1月1日、JR平泉駅前で行われました。もてなしの心で初もうで客を迎え、世界遺産登録への支援を呼び掛けました。

平泉地区鉄道OB会、農事組合法人アグリ平泉、平泉歩こう会の3団体を中心として、趣旨に賛同した町民約100人が参加。駅を降りた初もうで客に約150*、2500食のもちを振る舞い、登録支援の署名と募金活動も行いました。

797人分の署名と募金11万3617円は4日、町に贈られました。



勇壮に火たきのぼり 毛越寺の二十日夜祭

1月20日、毛越寺常行堂の二十日夜祭が行われ、厄災消除、無病息災、五穀豊じょうなどが祈願されました。二十日夜祭は、一山の僧りよたちが常行堂で続けてきた祈とうが満願するのを祈って行われているもの。今年も厄男など約300人が参加しました。

町内外5カ所の奉納宿から集結した参加者たちは、駅から常行堂までの道のりを献ぜん行列、鬼子、火たきのぼりで練り歩きました。

常行堂では、厄男たちによる「蘇民袋」の争奪戦などが行われ、境内は熱気に包まれていました。



浄土思想、もてなす心学ぶ 世界遺産登録見据え研修会

両磐地区広域市町村圏協議会の「世界遺産とおもてなしの心」研修会が1月11日、ホテル武蔵坊で開かれました。

両磐地区の市町職員ら約200人が参加。佐々木邦世中尊寺仏教文化研究所長らの講演から「浄土」の概念、外国人観光客に対する接し方を学びました。



幻想世界繰り広げる 13区有志が「夢灯り」

13区青年団体の睦会とそのOBの花柳会ら住民有志約30人は12月31日、中尊寺や高館義経堂へ訪れる初もうで客へのもてなしとして、同区公民館トイレを開放。合わせて「夢灯り」を催しました。

夢灯りでは、灯ろう約60個を義経堂参道に設置。幻想的な光が初もうで客の目を楽しませました。

平泉の文化遺産を発信 マークやロゴが決まる

「平泉の文化遺産」を発信するイメージコンテンツが決まり、1月26日に平泉郷土館で発表されました。4月から活用が始まる予定です。

発表されたのは、シンボルマークとロゴ、イメージコピー、音楽の4点。マークはアートディレクター吉田光世さんが制作。ロゴ「平泉」は書道家武田双雲さんの書。イメージコピーはコピーライター鈴木良平さんの作品。音楽は姫神の星吉紀さんが作曲しました。

平泉観光協会を窓口とし、平泉の周知、普及に向け今後積極的な活用が図られます。



児童、外国人らが通報訓練 「110番の日」広報イベント

町防犯協会と一関警察署が主催する「110番の日」に合わせた広報イベントが1月10日、平泉郷土館で開かれました。

世界遺産登録による外国人観光客の増加を見込み、児童や地域に住む外国人ら約100人が、講話や訓練を通して110番の仕組みや通報のポイントを学びました。

会場には白バイやパトカーも展示され、子どもたちがあこがれの警察車両に体験乗車。弁慶力餅競技保存会によるもちつきも行われ、参加者はつきたてのもちに舌鼓を打っていました。



町勢発展に決意新た 新年交賀会に約300人

町、町議会、JAいわて南、商工会が主催する「平泉町新年交賀会」が1月7日、平泉観光レストセンターで開かれました。

来賓、各団体の代表者、区長、町民など約300人が出席。新年のあいさつを交わしながら、一年の多幸を願うとともに、町勢発展を誓い合いました。



幸福を祈り一気に 中尊寺で金盃披き

1月8日、中尊寺の新春恒例行事「金盃披き」が同寺大書院で行われました。

町内外から招待者約140人が出席。鏡開きに続いて大(3.5合)、中(2.5合)、小(2合)の金盃に注がれた酒を一気に飲み干し、今年一年の健康と幸福を祈りました。